

蓼科高校 長野大学高大連携講座「蓼科学 2018」

(アーバンデータチャレンジ 2018 長野拠点イベント)

立科町探検で地域マップづくり

～沖縄修学旅行と地元立科町から地域を学ぼう～



前年度の蓼科学 2017 / 立科町探検隊の様子

●本単元のねらい

これからの時代を生きる高校生には、自ら地域に出かけ、地域がどんなものかを自分の力で感じとろう。それがたとえ断片的でも表面的であっても、自ら実践することが地域にコミットするスタート、知ることの源泉となります。本單元ではその入門体験をします。

地域マップづくりを通して、一人一人が主体的に地域を捉えて自らの視点・言葉で情報を発信し、参加者どうしが共有しあう協働的 (Collective/Collaborative) な学びを体験します。

●学習の目標

- ① 自分の意思で地域を捉え発信できるようになる。
- ② 地域で獲得したデータをどう編集し共有できるものにするかがわかるようになる。
- ③ 発表会でしっかりと自分の発表をする。
- ④ 地域を面白がれる人になる。

●単元構成

回	日付 (火)	単元	内容
第1回	9月25日	地域を探ろう	地域って何? 地域を探そう「蓼高ミニ探検」
第2回	10月2日	沖縄マップをつくる1	沖縄修学旅行をマップにまとめるプラン
第3回	10月23日	沖縄マップをつくる2	沖縄マップを作る
第4回	10月30日	立科町マップをつくる1	※立科町探検ラウンド1
第5回	11月6日	立科町マップをつくる2	※立科町探検ラウンド2
第6回	11月20日	立科町マップをつくる3	※立科町探検ラウンド3
第7回	12月4日	まとめ	マップづくりのまとめ
第8回	12月11日	発表会	全員発表をする

各回 13:30～15:20 会場: 蓼科高校 (長野県立科町芦田 3652) ※はフィールド学習

●これまでと異なる学びのポイント

- ① 主体的に地域にコミットできるようにするための導入
- ② 発信をジブンゴトに近づけるための手段としてのスマホの利用
- ③ 蓄積・共有しあえる協働的な学び空間としての「デジタルコモンズ」の開設
- ④ 全国で応用ができ公開共有ができる自律分散的な「地域の学び」モデル

●地域の学びを蓄積共有する「信州デジタルコモンズ」の「蓼科学マップ」

蓼科学アーカイブ/マップ 公開 URL

<https://mmdb.net/tateshina/>

生徒一人一人が撮った画像・動画は全て「蓼科学（立科町）アーカイブ」に収録します。それらすべてを「蓼科学（立科町）マップ」にマッピングします。

「蓼科学アーカイブ/マップ」は、毎年の「蓼科学」の保管庫になります。

蓼科学で先輩たちが取り組んだ2015年、2016年、2017年の「立科町探検隊」の記録も収録されます。毎年毎年の学習成果が蓄積され続けます。

蓼科高校の地域学習の成果が蓄積されて、立科町の地域アーカイブとなります。

「蓼科学アーカイブ/マップ」は、「信州デジタルコモンズアーカイブ/マップ」に包摂されます。

●毎回の授業実践の公開

蓼科学は地域開放講座です。また、本単元の授業は「アーバンデータチャレンジ2018長野ブロック地域拠点イベント」として公開します。→<http://urbandata-challenge.jp/>

参加方法：直接、会場にお越しください。

●講座内容・企画のお問い合わせ先

前川道博（長野大学企業情報学部教授）

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1 長野大学

TEL：090-2270-5074 / FAX：0268-39-0002

メール：maekawa@nagano.ac.jp